

「新しい国民との直接対話」に関する基本的考え方及び  
運営のあり方について（骨格）（案）

1．意義及び位置づけ

- ・簡素な形を原則、「直接・対面」、「双方向」で実施することで国民の理解を深めながら、その意見を聴取。
- ・政策として対処すべき課題の抽出前段階から、政府部内での検討を経て一定の結論を得る前の段階で実施

2．基本理念

（1）双方向性の確保

- ・「広聴機能」の重視

（2）徹底的な透明化、公正な運営

- ・テーマ選定、参加者・発言者の選定等を徹底的に透明化

（3）国民からの意見の適切なフィードバック

3．推進体制

4．テーマの選定

- ・「国民が関心を寄せているテーマ」と「その他実施すべきと考えられる国政の重要テーマ」に二分。
- ・「国民が関心を寄せているテーマ」については、複数候補を選定してHP上で意見公募

5．NPO等との連携